

都市局長賞

都市計画道路 駅前後楽園線シンボルロード整備事業

(表彰対象者：岡山県土木部都市計画課)

表彰の理由

路面電車の軌道架線のセンターポール化、ゆったりとした歩道等都心部の街路にふさわしい整備がなされ、地下広場や地下駐車場等の多様な都市施設の建設とあいまって、魅力ある都市空間を創出した。

事業のあらまし

本事業は、岡山の玄関口であるJR岡山駅前と「後楽園」を結び「桃太郎大通り」と愛称されている岡山を代表する目抜き通りを、路面電車の架線のセンターポール化、デザイン石張舗装とした広幅員の歩道、郷土色豊かな並木大通りの形成等により岡山のシンボルロードとして整備したものである。

- 延長：580m
- 幅員：50m
- 事業費：1,762百万円
- 事業実施期間：平成元年4月～平成3年7月



桃太郎大通りは、岡山の玄関口である岡山駅（手前）から後楽園（写真上）への幅員50mの街路である。



街路下に収用台数408台の地下駐車場を整備した。



自動車、路面電車、歩行者の安全通行を確保しながらの工事であった。



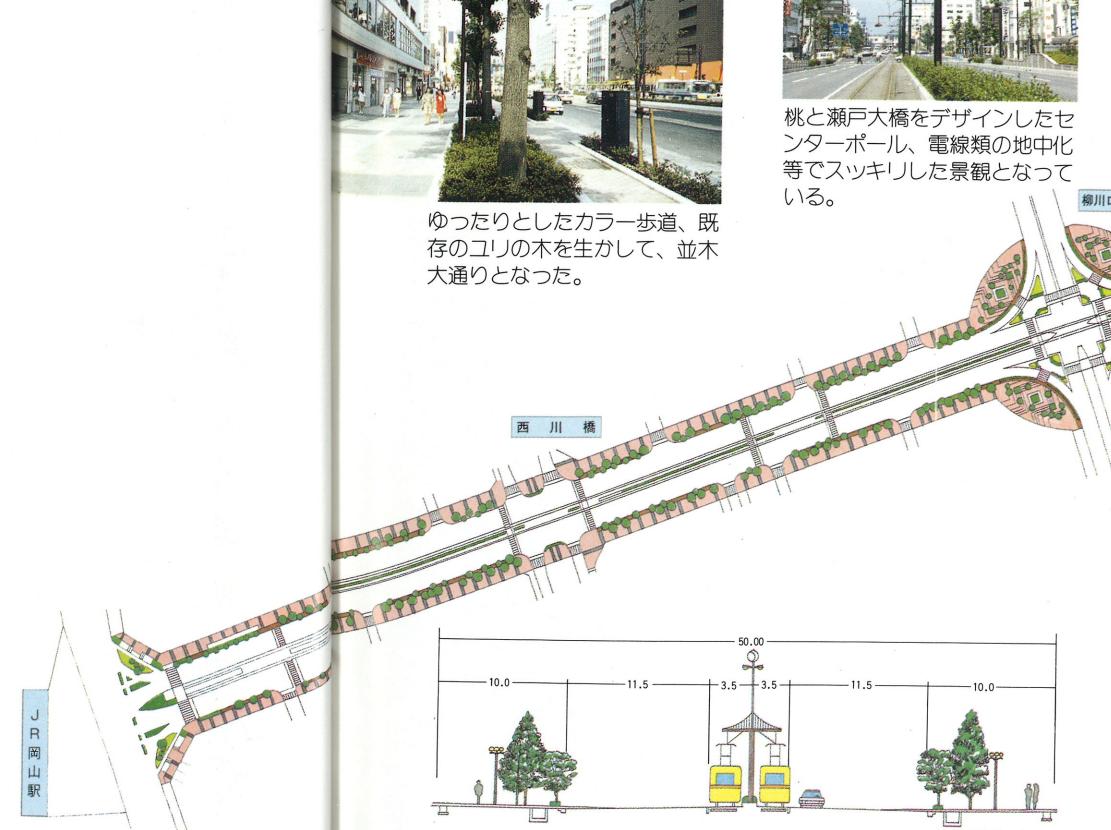
ゆったりとしたカラー歩道、既存のコリの木を生かして、並木大通りとなつた。



桃と瀬戸大橋をデザインしたセンターポール、電線類の地中化等でスッキリした景観となつてゐる。



桃太郎をはじめ、いぬ、さる、きじのかわいらしく、ユーモラスなブロンズ像で楽しい通りとなつてゐる。



事業遂行上の工夫

本路線は、市内でも有数の交通要衝であり1日約3万台の車両の円滑な流れと路面電車の約5分間隔運行を確保しながら、特に、沿線環境対策等に万全を期し昼夜施工するという難工事となつた。沿道商業関係者や通路占用者の協力を得て、道路整備を進めることができた。